

2022年8月8日

調査・研修報告書（議員用）

報告者： 松本 みのり

実施場所：全国市町村国際文化研修センター	実施日：2022年7月20日、21日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） *決算審査をどういった点に着目して行うべきか、審査をどう次年度に活かしていくのか、審査の基本と、他の自治体の良い取り組みについて学ぶため。	
■参考とすべき事項 *なぜ行政評価を行うのか、結果を何に活用するのか、目的意識を明確にし、共有しておくことが大切。 *決算では、予算で決めた仕事をしっかりやって、しっかり成果を出してくれたかを確認する。 成果を出してお金が余っているのか？成果もなく余っているのか？ *補正予算では支出に目が行きがちだが、財源にも目を向ける。 *総務省HPから全国の地方公共団体の財政状況を確認する。 *単年度収支を見てもあまり意味はない。実質単年度収支がプラスかマイナスかはしっかり見ておく。 *行政の執行部による自己評価も重要。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） *各政策・事業について、失敗が許されないと、それを隠し、数字の辻褃合わせをすることになりかねない。審査や評価は、住民福祉をより良くするためのもの。 失敗があった時にも、まずはそれを認め、より良く改善していく材料と捉え、次に活かせる風土を作りたい。 *決算審査では、第一には数字を見ていくが、数字に表れない部分を掘り下げて評価することも必要。 *コロナ禍で続く補正予算についても、使い道と成果が見える化し、今後のより良い施策につなげていく。 *行政評価によって行政課題を発見し、より市民の助けとなる市政をつくっていくことを目指す。	